

科目名	子ども文化	単位数	2 単位	学科・学年	生活総合科 3年 A 専門コース		
使用教科書	高等学校用 子ども文化 (文部科学省)	副教材等					
学習目標	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を身につけ、さらに子ども文化の充実を図る能力と態度を身につけることを目標とします。						
学習評価	○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。						
	①関心・意欲・態度	授業に積極的に取り組み、発表・課題提出などが積極的にできるかどうかをみます。					
	②思考・表現・判断	遊びを通して子どもの心身の発達や健康の保持増進がなされることを理解し、子どもの発達段階に応じた遊びを具体的に考えることができるかどうかをみます。					
	③技能	子どもの表現活動と児童文化財の中からいくつかとりあげ、創作活動や製作が適切にできるかどうかをみます。					
	④知識・理解	子どもの遊びについて必要な知識を吸収し、実生活において問題を解決できるだけの理解が得られているかどうかをみます。					
		評価方法\観点	①	②	③	④	
		学習状況観察	◎	—	—	—	自己評価の実施
		課題レポート・作品	◎	◎	◎	◎	課題ごとに提出
		ノート提出	○	◎	○	○	学期に1回提出
		ペーパーテスト	—	—	◎	◎	中間・期末試験
	※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
	○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標到達に努めましょう。						
履修上の注意	○授業は板書・プリント等を利用するので、ノートまたはファイルを用意すること。 ○作品や実習後のレポートは、期限までにきちんと完成させて提出すること。						

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	学習活動（評価方法）
1 学期	4	第1章 子ども文化とは何だろう			
		第1節 子ども文化とは	1	・子ども文化とは何かを理解する。	
		第2節 子ども文化を歴史から見る	1		
	5	第2章 子どもと遊び			
		第1節 遊びの意義と発達	12	・子どもにとっての遊びの意義と、遊びを通して心身の発達や健康の保持増進がなされることについて理解する。	・視聴覚教材（子どもと遊び）
		第1 遊びの魅力と特徴			
		第2 遊びの意義と機能			
		第3 子どもの発達と遊び			
	6	第2節 遊びの現状	4	・子どもの遊びが成立する時間、空間、人間関係の現状を理解する。	
		第1 遊びの原空間			
	第2 遊びの実態	4	・遊びと遊具とのかかわりについて理解し、遊具の選び方や与え方などを具体的に考える。	・子どもにふさわしい遊具の考案 (レポート提出)	
	第3節 遊びと遊具・玩具				
	第1 遊具				
	第2 玩具		・遊びと玩具とのかかわりについて理解し、玩具の選び方や与え方などを具体的に考える。	・玩具の観察 (レポート提出)	
7	第4節 遊びと伝承	6	・凧あげやかごめなどの伝承遊びを取り上げ、現代の遊びと比較して、遊びの楽しみの共有化、工夫する体験の大切さについて考える。	・お手玉作り ・伝承遊びの体験 (学習状況観察) (自己評価) (提出物提出状況)	
		保育技術検定受験			
		(1学期期末試験)	1		(試験)

2 学期	9	第3章 子どもと表現活動 第1節 子どもの表現活動のおもしろさ	2	・表現活動の意義を理解し、それを支える児童文化財の重要性について考える。	・視聴覚教材（子どもの表現活動）
		第2節 造る・描く 第1 造形教育の歴史 第2 子どもの発達とつくる活動 第3 子どもの発達と描く活動 第4 飾る活動	4	・各発達段階における描画表現の違いについて理解する。	・実習（造形活動）
		第3節 言語表現活動	4	・お話の効用について理解する。 ・素話、パネルシアターなどの実演を効果的に行う技術を身につける。	・実習（素話）
		第4節 歌う、踊る、演奏する	2	・子どもにとって音楽は、感情や感覚に訴えてくるものであることを理解し、子どもに歌いかけるなどの活動の重要性を理解する。	・視聴覚教材（子どもの音楽活動）
		第5節 幼稚園における表現活動の実際 第1 保育の実態 第2 幼児の姿 第3 活動の展開	2		・観察（保育園実習等） (学習状況観察) (自己評価) (提出物提出状況)
学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
3 学期	10	第4章 子どもと文学 第1節 素話	1		
	11	第2節 紙芝居	2	・紙芝居の実演を効果的に行う技術を身につける。	・実習（紙芝居）
	12	第3節 絵本 第1 絵本とは何か 第2 絵本の特徴 第3 絵本の歴史 第4 絵本の種類 第5 絵本はアート 第6 ビデオ化された絵本をどのように扱うか	4	・絵本は子どもの興味、関心にあった選択が必要であることを理解する。	・実習（絵本）
		第4節 児童文学 第1 児童文学の歴史 第2 児童文学のジャンル	2	・子どものための優れた児童文学作品について理解する。	
		第5節 アニメーション	2	・子どものためのアニメーション作品を鑑賞する。	・視聴覚教材（アニメーション作品）
		第5章 現代の子どもの生活と文化 第1節 テレビ、キャラクター、ゲーム	1	・現代の遊びの特徴を理解する。 ・テレビゲームなどを長時間使用し続けると、子どもの発達を阻害する危険もあることを理解し、適切な使用方法を考える。	・視聴覚教材（幼児向けテレビ番組）
		第2節 子どもと年中行事 第1 変わってきた年中行事 第2 通過儀礼と年中行事 第3 地域で育てる	1	・地域の伝統行事に子どもが参加することの意義を考える。 ・子どもの成長の節目に行われる通過儀礼について理解する。	・地域の伝統行事やその由来の調査 ・産育や成長儀礼に関する調査 (レポート提出) (学習状況観察) (自己評価) (提出物提出状況) (試験)
		(2学期期末試験)	1		
		第6章 子ども文化を支える場 第1節 子ども文化活動 第1 行政による公的な支え方 第2 民間企業による支え方 第2節 児童文化のための施設 第1 子どもの体験活動の支援施設 第2 その他の児童文化施設	2 1	・子どもに豊かで健康的な文化環境を与えることに関心をもつ。 ・児童文化施設の設置目的について理解し、その活用方法を考える。	・児童文化を支える活動についての調査 (学習状況観察) (自己評価) (提出物提出状況) (試験)
		保育技術検定受験 (学年末試験)	1		
長期休業中		第7章 子ども文化実習 第1 子どもとかかわる前に 第2 遊びの観察			・実習を通して表現活動、創作活動、製作等を子どもとともにやる。